

高島市の新たなステージに向けて

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年2月に市長に就任させていただいてから、市内では台風18号災害や放射性木材チップ問題をはじめとし、市民の皆さまにご心配をおかけするさまざまな出来事がありました。

私にとりまして、重大かつ困難な判断を求められる局面が数々あった訳ですが、何よりも市民の皆さまの安全・安心を守ることを第一に、関係者と話を重ね、たとえ一歩ずつでも問題解決に向けて前進することに、誠心誠意尽くすことを心がけてまいりました。

そうした中、昨年後半には、あつてはならない職員の不祥事や、長年にわたり課題を先送りしたこと等による事務の誤りで、皆さまにも大変な迷惑をおかけいたしましたことを、改めてお詫び申し上げます。

組織は、何よりも職員ひとり一人の意識と能力に支えられており、そのためにも事務の一点検も含め、管理職をはじめとした職員の説明能力向上など、庁内での組織改革にも現在取り組んでいるところです。

今後、市政に対する皆さまの信頼を高められるよう、職員一丸となり、より一層新たな気持ちで取り組んでまいります。

さて、昨年12月に開催された「全国発酵食品サミット in たかしま」は、この地域の食文化を全国に発信したことに加え、市内外から18,000人を超える多くの皆さまにご来場いただき、当市の魅力やブランド力はもちろんのこと、私たち自身の誇りをも高めたのではないのでしょうか。

合併前の6つの町村にあった地域資源は、この地の「多様さ」の証でもあり、その多様な魅力は「ひとつの高島」という地域で発信されるからこそ、一層人の心を引き付けるに違いありません。

また、今年は市制10周年に向けての節目の年に当たります。加えて、美しい琵琶湖を臨む湖西線開通40周年という記念の年にも当たります。

このように当市には、本当に素晴らしい地域資源や魅力がたくさんございます。今後、ますます皆さまのお知恵やお力をお借りしながら、市民協働で、新たな高島市の次のステージに向けて、歩みを進めてまいります。

今年が、そうした転換の年となることを期待しつつ、結びになりましたが、市民の皆さまのご健勝、ご多幸を心よりご祈念申し上げます。

安全・安心な暮らしの実現に向けて

新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまには日頃から市議会の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年1月の選挙により、我々20名が新たに議員として選ばれてから、早一年が過ぎようとしています。この間、近年稀にみるさまざまな出来事が起りました。

とりわけ、9月16日未明に高島市を襲った台風18号による被害は、半世紀以上経験をしなかった甚大なものとなり、市内各地で住家をはじめ、道路、河川、農林水産施設、水道施設など、日常生活になくはならない大切な財産を飲み込んでしまいました。

幸い、大きな怪我をされた方もなく、人命に関わるようなことはありませんでしたが、農地をはじめとする本格的な復旧は、まだまだこれからです。被害に遭われた皆さまには、改めてお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧に向けて、議会と行政が力を合わせて取り組んでまいります。

東日本大震災発生から間もなく3年が過ぎようとしており、テレビを通じて目の当たりにした鮮烈な光景は今も脳裏にしっかりと焼き付いています。決して対岸の火事ではなく、何時発生するかわからない被害に備えておかなければならないという教

訓となりました。

また、放射能汚染木材チップ問題においてもしかり、皆さまの安全・安心な暮らしを取り戻すことが、私たちに課せられた大きな使命であるということを感じており、その実現に向けて議員一丸となって力を尽くしてまいります。

さて、市政運営の原点は、市民皆さまに分かり易く、かつ安心感を抱いていただくものでなければと考えております。これは、議長就任時のご挨拶でも述べたところです。そのためにも、皆さまの意思を代表する機関として、信頼される議会の構築に向けて、議会を挙げてこの一年間取り組んでまいります。

広報の在り方や、会議の運営方法など、多くの項目について点検をし、慣例にとらわれない改革によって、皆さまに議会を身近に感じていただくよう努めてまいります。と考えております。

どうか議会への一層のご理解をお願い申し上げます。皆さまにとりましてこの一年が幸多き年でありますようお願いして、年頭のご挨拶いたします。



高島市議会議長
清水 日出夫



高島市長
福井 正明

New year's greetings 2014

年頭のごあいさつ